



停電時に発電することで、照明・空調に電力を供給するエクセルプラス(右端)と3機のGHP

停電時に使える空調・照明の重要性を東日本大震災により再確認

タップロス株式会社は、秋田市に本社を置き、県内に数多くの営業所を配置するLPガス供給会社。ガス供給だけでなく、住宅機器や業務用機器の販売・施工を行っている。

2011年度に、一般社団法人ESCO推進協議会から補助金(建築物節電改修支援事業)の提案を受け、建物全体の省エネ化を計画。消費エネルギー10%削減をめざして、全照明のLED化、空調のリニューアルを検討していた際に、停電時にも空調と照明が稼働できる電源自立型空調ガスヒートポンプエアコン(GHP)「エクセル

プラス」の存在を知ったという。

2011年の東日本大震災では、停電により空調・照明が停止。気温が低いのに暖房できず、照明が使えないため十分な営業ができなかったこともあり、空調・照明の重要性を再確認。空調設備の更新を契機に、停電時にも最低限の空調・照明が使用できる「エクセルプラス」の導入が決定された。

約20年が経過していた既設GHPとの入替え後は運転音が静かで、燃費も良く、約30%の省エネを実現。また、万一の停電に備えて、月1回ブレーカを意図的に落とし、普段から自立運転が稼働するか、対策確認作業が行われている。



タップロス株式会社

所在地 / タプロス株式会社
 主 / 秋田県秋田市寺内字後城
 エンジニアリング / 麻生商事株式会社
 電気工事 / 松沢電気株式会社
 竣工 / 2012年7月

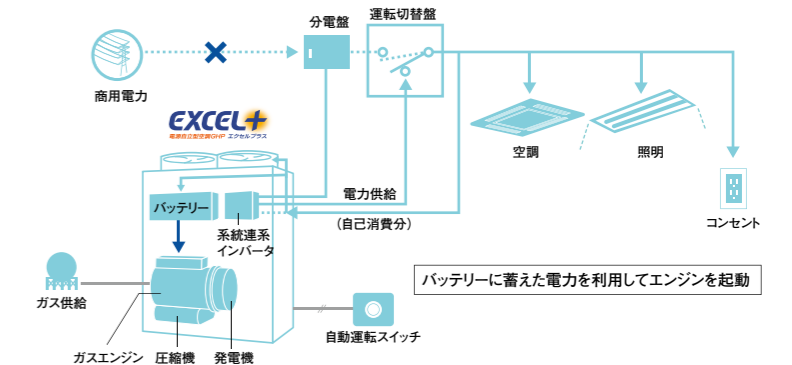


停電時には一部照明と空調が稼働する執務室



同時に設置された太陽光発電システム

停電時の自立運転システム図



主な設備

- GHPエクセルプラス(20馬力) 1台
- 4方向天井カセット形(4馬力) 5台
- GHPエグゼア他(計34馬力) 3台
- 太陽光発電システム 8.4kW

タップロス株式会社

TAPROS CORPORATION